

2,600人



2003 2004 2005 2006 2007

■過去5年間の上海日本人学校
(虹橋校・浦東校) 児童・生徒数

上海日本人学校の児童・
生徒数は、約2,600人で、
世界一の規模となっています。

48,000人

外務省は、毎年10月1日
現在で世界各地に在住さ
れる邦人数調査を行って
いますが、昨年の上海在
留の都市別長期滞在の
邦人数は約4万8千人で
世界一となる見込みです。

また、上海市の調査に
よれば、上海市への
進出日系企業数は、
2007年末まで
に6,844社と
なっており、都
市別に見ると

世界でも最大級となって
います。

この数字、 ご存知ですか？ 上海にある世界一！

2007年に当館が発給
した査証(ビザ)件数は約
207,000件です。この数
字は、全世界の在外公館
の中で第二位となっており、
近い将来は世界一に躍り
出るものと思われます。
(第一位は在中国大使館
で、2007年のビザ発給件
数は約233,500件です。)



2003 2004 2005 2006 2007

■過去5年間の査証発給数

207,000件

■過去5年間の上海市の
長期滞在者数

2003 2004 2005 2006 2007

上海総領事館だより

2008年 春号

Vol.16

発行:在上海日本総領事館

上海日本人学校の校歌の一節です。
上海では、近年の在留邦人数の増
加に伴い小・中学生数も飛躍的に
増加し、今や上海日本人学校の在
籍児童・生徒は約2600名と、世
界一のマンモス校となっています。
また2005年には蘇州日本人学
校が開校、更に本年4月には杭州
日本人学校が開校予定であり、加
えて南京・無錫・寧波には週に1回
の日本語補習授業校が開校され、
現地校やインターナショナル・ス
クールに通学している児童・生徒も
合わせると、現時点で当館管轄内
に約4000人もの児童・生徒が在
籍しています。

子供たちの輝く 未来のために

海外教育・日本人学校のご案内



杭州日本人学校(イメージ)

本人会・商工クラブ等の皆様の多大
な努力により日本人学校・日本語補
習授業校が運営されています。
当館としても、海外で生活する
ことは様々な不安や苦勞を伴いつ
つも、海外でしか得られない貴重
な経験を積む良い機会であり、ま
た厳しさの中で自己を磨く機会で
もあることから、在外教育施設の
充実や、海外で成長する子女に多
様な教育の選択の機会を与えられ
るよう、年2回の教科書の配布な
ど様々な形で政府援助のほか、
教育環境についての情報提供など
に努めています。

草の根・人間の安全保障 無償資金協力の状況

草の根・人間の安全保障無償資金協力とは、我が国のODA（政府開発援助）の一種で、1000万円を上限とする小規模な無償資金援助です。中国に対しては、1991年に開始され、当館の管轄する上海市・江蘇省・浙江省・安徽省では、既に100件以上のプロジェクトを実施し、援助総額は約800万ドルとなっています。平成19年度は、当館は7件、援助総額51万ドルを実施しました。案件の内容は、貧困農村の学校建設や病院建設が中心となりますが、今年度は、上海市や南京市においても、身体障害者の子供達のリハビリ環境を整備するプロジェクトを実施しました。こうしたプロジェクトを通じて、障害者を巡る中国の社会環境の改善につながることも期待されています。



円借款の新規供与は既に日中両国の間で円満に終了していますが、草の根無償は今後も継続し、中国の草の根の人々のニーズに迅速かつ適確に応えていくとともに、日中間の良好な関係の構築に貢献していくことが期待されています。



今年は「日中青少年友好交流年」！

昨年は日中国交正常化35周年を記念した「日中文化・スポーツ交流年」として、多数の交流事業が開催されました。本年は、日中平和友好条約締結30周年を記念した「日中青少年友好交流年」として、将来を担う青少年の交流に重点を置いて、高校生以上の



2008年日中青少年友好交流年

互派遣や、文化、スポーツ、観光等幅広く交流事業が実施されます。去る3月10、11日には、この開募記念事業として、200名の大學生が日本から上海を訪れ、当地の中国大學生と交流を行った他、当館にて元サッカー日本代表の北澤豪氏らによるサッカー交流事業を開催しました。また、続く15日には、北京で交流年の開幕式が盛大に開催されました。今後の具体的な事業につきましては、当館ホームページ等で随時ご案内させていただきます。

また、「広報文化センター」では、最新のJ-POPの視聴や新聞、雑誌の閲覧等が可能です。在留邦人の皆様もお気軽にご利用ください。なお、ご利用に際しては、会員登録がパスポートの提示が必要になります。会員登録に当たっては、パスポートと写真（縦2・5cm×横2cm）2枚をご持参ください。（入会金・会費無料）

中国の雪害への支援

中国では1月10日以降、強い寒波の影響で、南部を中心に記録的な大雪による被害が発生し、多くの人々の生活に深刻な影響を与えました。中国民政部によれば、175万人を超える避難民が発生し、被災者数は全国で1億人を超えた模様です。当館管轄地域では、安徽省が受けた被害が甚大でした。

こうした中で、日本政府は、中国政府に対し、5700万円相当の緊急援助物資を供与することとし、2月6日、JICAの手配により、シンガポールの倉庫から援助物資が上海の浦東空港に到着しました。これを受け、同日、上海市民政局内において援助物資の引渡式が行われ、隈元優次総領事から、上海市民政局の王偉局長に、援助物資の目録が手渡されました。

今回送られた援助物資は、発電機300台、コードリール300台、寒冷地用毛布3000枚、スリッパ2100枚、2100枚であり、これらの援助物資は、被害が最も深刻な地域の一つである安徽省の被災地に分配されたということです。



最近の犯罪被害について



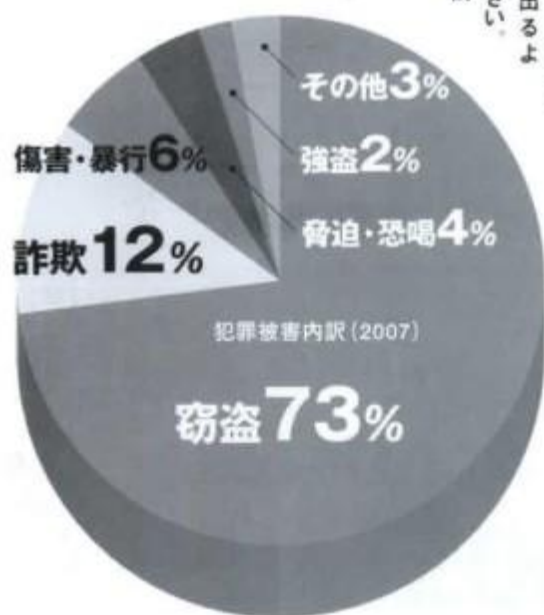
在留邦人数の増加に伴い、日本人が事件や事故等に巻き込まれる件数も年々増加傾向にあります。今夏の北京五輪や2010年の上海万博を控え、今後こうした件数は増加していくと予想しています。以下の事例は、最近、当館管内で発生した日本人に対する犯罪被害の一例です。

○上海出張中のK氏は、南京路で2人組の中国人女性に声を掛けられ、誘われるまま近くの喫茶店に入店。談話中に注文しないお酒や食事が出てきて、不審に思いながら会計をしたところ、数千円を請求され、ぼったくり。被害に気付いたが、身の危険を感じてカードで支払ってしまいました。

○上海出張中のM氏は、夜に宿泊先のホテルを出て散歩していたところ、人通りの少ない通りで複数の男性に声を掛けられ、半ば強引に車に乗せられてしまった。その後、連れて行かれた飲食店の個室でカードの暗証番号を聞き出され、多額の現金を引き出されてしまった。○上海に旅行中のT氏は、観光地付近のレストランにて食事中、隣の椅子に置いていた財布や旅券入りのカバンを盗まれてしまった。また、上海在住のN氏は、タクシーで市内を移動中に交通事故に遭い、幸い怪我はなかったものの、相手方と話をしている間に車内に置いていた旅券入りのバッグを盗まれてしまった。

このような被害については、当館から公安当局に対して取締りやパトロールの強化を要請していますが、夜間は人通りの少ない道路を通らない、見知らぬ人に誘われると絶対についていけない、など、皆さん一人一人が防犯意識を高めていただき、こうした被害に巻き込まれないよう十分にご注意下さい。万一こうした被害に遭われた場合には、必ず公安へ届け出るようにして下さい。

害届の控えを受領しておけば、保険会社等へ被害請求を行う場合の証明になります。また、同様の犯罪被害を防止するためにも、被害の状況等について当館へご連絡いただきますよう、よろしく願います。



新型インフルエンザ

世界的大流行に対する備えはできていますか？



新型インフルエンザ(H5N1型)には現在世界中で約300名がかり、約200名が死亡しています。死亡率60%を超える高病原性に加えて、人はこのウイルスに対する免疫を全く持っていないために、近い将来、世界中で大流行する可能性があることが警告されています。

被害を少なくするために、世界保健機構(WHO)が各国に新型インフルエンザ対策を行うよう指導しています。各国はWHOがフェーズ4(人から人への感染がはっきりした)を発表すると、直ちに「封じ

込め」対策を開始します。例えば、患者さんを伝染病院へ隔離して、その地区への立ち入りを禁止します。空港では検疫を強化します。人が大勢集まる活動(集会、デパート、会議)を停止させます。社会活動は著しく低下します。外務省は渡航の延期や可能な方の退避勧告をします。

そこで現段階で準備すべき項目として、

○個人：少なくとも2週間分程度の水、食料の備蓄、体温計、マスク、消毒剤(アルコール等)、現金等。



○企業：事前にいつ家族を日本に退避させるか、誰が中国に残るかを決めておく。現地従業員に対する対策を決めておく。

詳しい情報は以下のサイトから入手できます。

外務省：
<http://www.mofa.go.jp>
厚生労働省検疫所：
<http://www.forth.go.jp>

総領事館からのお知らせ

パスポートをチェックしてください!

パスポート(旅券)は、普段の生活では出番が少なく、ついカバンの中に入れたまま持ち歩いていますか?

上海で去年1年間に旅券紛失手続きを行った邦人は400人を超え、その7割近くがカバンに入れていた時に事件に遭っています。居酒屋などで楽しい宴が終わり、店を出ようとした時に「カバンが無い!」これが旅券紛失原因のNo.1です。No.2は、タクシーでのカバンの置き忘れと続きます。旅券を持ち歩く時は体から離さないように心がけてください。

旅券と居留許可(VISA)の有効期限を覚えていますか?旅券と居留許可は、海外で生活

する私たちにとって必要不可欠なもの、居留許可が無ければ中国で生活することは出来ません。居留許可は、旅券の有効期限以上は出ないことをご存じですか?次回更新しようとする居留許可の期間が旅券の有効期間を超える場合は、旅券更新後に居留許可申請することをお勧めします。当館で旅券を更新する場合に必要な期間は1週間(月曜日に申請した場合、翌週の月曜日に受取可能。)です。有効期限やスケジュールに余裕がある時期に申請をお願いします。

旅券に関するご質問等がありましたら、お気軽に日本人窓口までお問い合わせください。

■旅券更新手続きに必要な書類等



※注1 書類申請の詳細は当館HPでご確認ください。

※注2 更新期間中は旅券をお預りしますが、やむを得ない事情がある場合にはお返しすることもできます。窓口でご相談ください。(お返しした旅券で中国から出国することはできません。)

※注3 小学生以上は申請書サイン欄に本人のサインが必要です。

引越する時、帰国する時の手続きは?

引越する時

○在留届の「記載変更届」の提出をお願いします。提出は郵送・FAX等でもOKです!

○「在外選挙人証記載事項変更届出書」の提出をお願いします。提出は郵送でも可能です。郵送で本届出をする場合は、上記の届出書の他、①現在お手持ちの「在外選挙人証」(原本)と②パスポートの写真ページのコピーを同封して下さい。

帰国する時

○「帰国届」の提出をお願いします。提出は郵送・FAX等でもOKです!

○「在外選挙人証」は、帰国して転入届を提出後も、4ヶ月以内に国政選挙に参加する場合には必要になります。しばらくは大切に保管して下さい。

※各届出の書式は、当館ホームページからダウンロードすることができます。

在外選挙のご案内 海外からでも日本の国政選挙に投票できます!

在外投票を行うためには、在外選挙登録の手続きが必要です。手続きには2〜3ヶ月を要しますので、早めの登録をお願いします。

登録資格

- ① 20歳以上の日本国民
- ② 日本で転入届を出している方
- ③ 当館管轄地域で3ヶ月以上お住まい(予定)の方

登録方法

- ① 総領事館で申請
 - ② 「領事出張サービス」の利用
- ※お問い合わせ下さい。

持参するもの

パスポート

在上海日本国総領事館のご案内

(当館管轄地域:上海市、江蘇省、浙江省、安徽省、江西省(2008年4月より))

- 代表電話番号 021-5257-4766
- ビザ専用回線 021-5257-4768
- FAX番号 021-6278-5988
- 所在地 上海市長寧区万山路8号(〒200336)
- ホームページ <http://www.shanghai.cn.emb-japan.go.jp/>
- パスポート・証明等申請時間 9:00~11:30、12:30~15:30

【広報文化センター】

- 電話番号 021-6219-5917
- FAX番号 021-6219-5957
- 所在地 上海市延安西路2201号国際貿易中心302室
- 開館時間 9:30~17:00

2008年の休館日

- 清明節 4/4(金)
- 労働節 5/1(木)~5/2(金)
- 端午節 6/9(月)
- 中秋節 9/15(月)
- 国慶節 9/29(月)~10/3(金)
- 年末休暇 12/30(火)~12/31(水)

※土曜日と日曜日は休館します